

1. <施策の概要>

基本理念	安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり	統括課	健康福祉環境部 福祉課
基本方針	コミュニティー・地域福祉		
施策名	地域福祉	関連課	
方針・目標等	◆地域福祉活動の推進体制の充実 ◆地域で支え合う温もりのあるまち		
実施内容	◆身近な地域での多様な福祉課題の把握		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度		算式・引用等			
①	○ 福祉ボランティア数	名	本津川市 1,239	24	町社会福祉協議会調べ			
②	○ 福祉ボランティア団体数	団体	本津川市 171	24	福祉課調べ			
③	町人口(20歳以上)の福祉ボランティア率	%	本津川市 2.2	24	福祉課調べ			
④	地域福祉センター等利用者数	名	本津川市 19,852	24	福祉課調べ			
⑤	災害時要配慮者登録数	名			福祉課調べ			
			H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標		564	520	595	600	620	620
	実績		564	595	595	560		
②	目標		53	53	55	60	60	60
	実績		53	53	55	60		
③	目標		2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.3
	実績		2.1	2.1	2.1	2.2		
④	目標		37,528	37,600	41,376	41,400	41,400	47,000
	実績		37,528	39,460	41,376	46,490		
⑤	目標		-	-	1,376	1,400	1,500	1,550
	実績		-	-	1,376	1,326		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・福祉ボランティアの活動範囲や年齢構成を見ると、居住地の拠点(集会所等)で活動しているケースが多く、年代は60歳代以上が大半である。 ・福祉ボランティアの活動拠点を担う地域福祉センターの利用者数を見ると、ボランティア活動と余暇等のサークル活動との割合が半々である。 ・福祉ボランティアの動向を見ると、組織的な位置づけで動くというより、小地域ごとのグループ単位で活動しているケースが多く見受けられる。 ・ボランティアの高齢化に伴い引退する人が増え、ボランティア全体の数が減少してきている。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・現在、福祉関係ボランティアを束ねる協議会はあるが、会員数が減少している。他の自治体の動向を見ると、ボランティアや各種団体の横の連携を図る必要性が強く感じられ、それらを啓発する意味での研修活動を充実する必要がある。
・地域福祉計画における課題検討から、「在宅で暮らせるサービスの充実」や「次代を担う子どもたちの福祉教育」、「身近に相談できる場所づくり」等を具体的に進める事業を構築する必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	福祉課	8,936	2,841	2,676	7,053	9,178	9,178
	地域福祉計画事業	5,984	408	1,479	1,481	3,606	3,606
	一般事業 107	784	408	1,379	1,191	1,606	1,606
2	福祉課	13,991	13,116	14,367	14,003	14,691	14,691
	社会福祉推進事業	10,223	9,088	9,823	9,499	10,187	10,187
	一般事業 105	8,273	7,066	7,880	7,730	7,723	7,723
3	福祉課	2,392	2,101	2,137	3,070	3,109	3,109
	戦没者追悼式	247	242	237	234	273	273
	一般事業 105	247	242	237	234	273	273
4	福祉課	7,116	7,596	7,906	11,008	11,269	11,269
	民生委員・児童委員活動	4,987	5,163	5,547	5,469	5,730	5,730
	一般事業 107	1,729	1,767	1,950	1,844	1,984	1,984
5	福祉課	1,811	1,880	1,432	2,551	3,076	3,076
	福祉人材・ボランティア育成支援事業	480	660	200	425	950	950
	一般事業 107	306	471	80	225	350	350
6	福祉課	-	32,516	630	2,771	2,888	2,888
	地域福祉情報バリアフリー構築事業	-	31,599	57	49	166	166
	一般事業 117	-	1	57	49	166	166
7	福祉課	-	-	13,851	21,722	-	-
	地域支え合い体制づくり事業	-	-	11,865	17,105	-	-
	一般事業 117	-	-	0	0	-	-
8	福祉課	45,390	44,298	43,103	44,514	44,397	44,397
	地域福祉センター施設運営事業	29,690	28,611	35,201	35,783	35,666	35,666
	一般事業 125	26,756	26,216	31,951	32,975	32,438	32,438
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・地域福祉計画を策定することができ、今後、本計画の重点課題を最優先に取り組むベースができあがった。
- ・また、これから、社会福祉協議会の地域福祉活動計画とともに、本町の地域福祉を推進するべき組織づくりの強化が課題である。
- ・地域福祉センターの施設の老朽化に伴う対策が必要であることから、施設改修の年次計画を作成することが必要である。

5. <施策の今後の方向性>

- ・毎年、地域福祉計画におけるさまざまな課題を住民とともに検証しつつ、計画の見直しを図っていきたい。
- ・具体的には、町内中学校区別で展開している作業部会を通して、地域住民や事業者等との意見交換(隣人まつりの実施)を重ね、計画の実現に向けて調整していく。
- ・24年度に社会福祉協議会で策定した地域福祉活動計画や平成25年度に町が策定する地域福祉計画の見直しを踏まえ、現在の計画における課題等を整理し、計画の改定を行う。
- ・今後においても、ボランティアの人材教育や講座等を開催し、地域力を高めるいきいきサロンの設置事業を展開していく。
- ・地域福祉センターの改修計画とともに、あり方委員会などで今後の施設の方向性などを検討していく。